



# 学校だより

横浜市立釜利谷中学校  
発行日 令和4年9月1日(木)  
発行者 学校長 木村 典明  
所在地 金沢区釜利谷南 3-5-1  
電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

## 学校教育目標

人との関わりを大切にします。(徳、公)  
生きるための学びを大切にします。(知、開)  
心と命を大切にします。(体、徳)

知…生きてはたらく知  
徳…豊かな心  
体…健やかな体  
公…公共心と社会参画  
開…未来を開く志

## 「熱戦・熱演から感じること」

校長 木村 典明

7月から8月初旬にかけて、部活動の市総合体育大会やコンクールなどが行われました。一部の部活動を除くと、多くの3年生にとっては最後の晴れ舞台ということで、私も時間が許す限り応援して回りましたが、どの生徒たちも力の限りを尽くした熱戦・熱演を繰り広げていました。生徒がひたむきに頑張っている姿を見ていると、結果の如何に関わらず、とても清々しい気持ちになるから不思議です。

「自分が中学生の時(卓球部)の最後の試合はどうだったかな？」と振り返ってみると…。2回戦負けだったことは覚えているのですが、正直、試合の内容まではよく覚えていません。むしろ、普段の練習やトレーニング中の出来事の方がよく思い出されます。例えば…。毎週水曜日はトレーニングで「うさぎ跳び(※1)でグラウンドを回って来い」と言われ足腰がガタガタになったこと、高校生のOBが来て私たちを散々しごきつつも合間合間に「水飲んでいいぞ」と水分補給をさせてくれたのでみんなが驚いていたこと(※2)、部長と副部長の間でいざこざがあり仲を取り持つのが大変だったこと、部活が休みの日もみんなで近所の卓球場に行って練習したこと、など。そういった日常の様々な出来事が思い出されて、何とも懐かしい気分になってしまいます。

私が生徒たちのひたむきに頑張っている姿を見て、清々しい気持ちになるのは、「きっとここにたどり着くまでの間には、様々な出来事やドラマがいっぱいあったんだろうなあ」と勝手に自分の時のこととオーバーラップしてしまうからなのかな、と思っています。

まだ、お子さんの部活動でひたむきになっている姿をご覧になったことがない保護者の方がいらしたら、ぜひ大会会場にお越しになってみてください(※3)。その姿から様々なことが感じ取れると思いますよ。

そうそう、自分の最後の試合でもう一つ覚えていることがありました。当時スポーツ飲料というのは私たちの間では全く定着していなかったのですが、その日は、オータオードというスポーツ飲料の草分け的なものをはじめ持って行きました。「これを飲めばパワーがみなぎって試合に勝てるぞ!」と、いかにも子どもらしい大きな勘違いをしていたものでした…。余談です。

※1 「うさぎ跳び」は現在、トレーニング効果が無く故障の原因になる、とされています。

※2 当時は、「運動の最中に水を飲んだらバテる」と誰もが信じ切っていました。

※3 コロナ禍のため試合会場によっては入場が制限されています。その場合はご容赦ください。

## ◇新たに設置しました！ —学校運営協議会—

社会や学校を取り巻く環境が複雑、多様化している中で、子どもに関する課題を解決して、豊かな成長を実現するためには、家庭や地域社会と学校が連携・協働していく必要があります。そこで、本校ではこれまで単年度で設置していた学校懇話会を改め、この度、学校運営協議会を設置する事になりました。

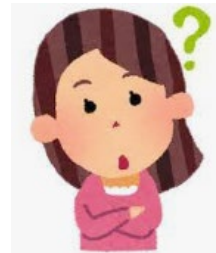
学校運営協議会は、法律に基づく組織で、学校と地域や保護者を代表する皆さんとが対等な立場で協議し、学校運営に参画していただくものです。学校運営の根幹となる教育課程や学力向上、生徒指導上の課題、行事、部活動などについて、ご意見をいただきながら学校運営の改善を図っていきます。

Q 学校運営協議会はどんなことをするの？

A 学校運営への参画や連携・協働を進めることで、保護者や地域住民と学校が一体となった学校運営の改善や、生徒の健全育成に取り組めます。

Q 家庭や地域社会と学校が連携・協働するとどんなことが期待できるの？

- A①地域・保護者の皆さんが学校教育に参加することで子どもたちへの教育活動が充実します。  
②地域・保護者の皆さんと学校が顔の見える関係となり、学校の理解者、協力者が増えます。  
③地域の皆さんの交流が活発になり、皆さんのつながりがより広く深くなります。



## ◇学校に行きたくないな... —講演会・保護者交流会のお知らせ—

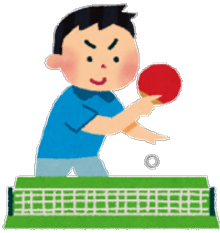
何らかの心理的あるいは社会的な要因や背景などによって、学校に行くことに抵抗を感じるという児童生徒が全国的に増えています。そのようなお子さんを目の前にしている保護者のみなさんは、きっとお困りのことと思います。「悩みが尽きない」「卒業後のことを考えると不安」...そんな保護者のみなさんのお悩みに少しでも寄り添うことができると、横浜市教育委員会のスクールスーパーバイザーでいらっしゃる岡田弘先生（東京聖栄大学教授）に、登校しづらさを感じるお子さんとの向き合い方について講演していただきます。また、講演後は、悩みやお困り感をシェアする保護者お話し会も持ちたいと思います。激しく変化する社会の中であって、いつ、どの子が、そうなってもおかしくない時代となっています。お子さんの現在の状況に関わらず、ぜひ奮ってご参加いただければと思います。



## ◇頑張ったね！ -部活動の成績- ※主に夏季大会の成績です。

○卓球

市総体女子団体市大会第5位 県総体進出  
 // 男子団体市大会ベスト16  
 全横浜卓球大会女子団体第3位  
 // 男子団体Bリーグ第3位  
 横浜市カデット卓球大会2年女子個人第3位  
 // 2年男子個人第3位  
 // 第3位  
 // 1年男子個人第2位  
 // 第3位



○将棋 釜利谷中Bチーム

県大会初級戦優勝

○バレーボール

市総体ベスト16 県総体進出

○バスケットボール

市総体男子南部ブロック大会3回戦進出

○陸上競技

金沢区大会男女総合3位

// 女子総合優勝

// 男子総合3位

○吹奏楽

横浜吹奏楽コンクール中学校B部門金賞

○合唱

NHK全国学校音楽コンクール奨励賞

○水泳

県総体200m平泳ぎ第3位

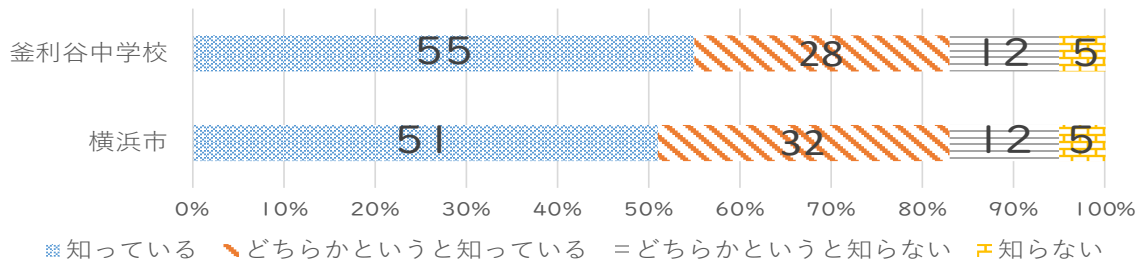
市総体200m平泳ぎ第2位



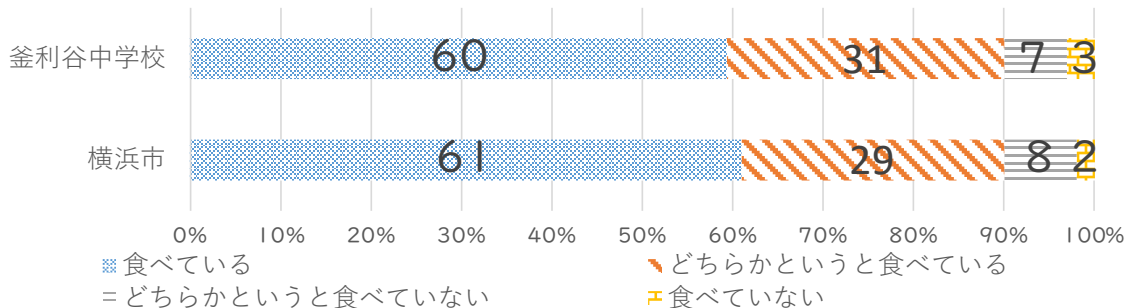
## ◇いただきます！ —「食事に関する調査」より—

昨年度、横浜市立中学校の2年生（現3年生）を対象に行われた、「食事に関する調査」（抽出調査）の結果を学校だよりで毎回お知らせしています。

【質問】あなたは、和食のよさ（脂質が少ない、野菜が多い、ごはんが中心となる、伝統的な食文化が伝わるなど）を知っていますか。



【質問】あなたは、和食（例えば、煮魚、おひたし、五目豆、ひじきの煮物、みそ汁など）が出されたとき、進んで食べていますか。



平成25年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本の伝統的な食文化の継承に向けた取組が推進されています。

◇9月の主な予定 ※9月10日～16日は自殺予防週間です。



- 1日(木) 防災訓練 教育相談(~2日)
- 5日(月) 専門委員会
- 6日(火) 特別委員会
- 7日(水) 生徒委員会
- 8日(木) 2年修学旅行説明会
- 12日(月) 集会
- 15日(木) 中間試験(~16日)
- 19日(月) 敬老の日
- 21日(水) 個別支援学級体験入級(~22日)
- 23日(金) 秋分の日
- 27日(火) 3年進路説明会
- 30日(金) 3年英語検定



次回の発行予定日は10月3日(月)です。